

## メッセージ



学校法人佐野学園 理事長  
**佐野 元泰**

2020年オリンピック・パラリンピックの開催地が、東京に決まりました。本学ではこれまで国際スポーツ大会に多くの通訳ボランティアの学生を送り出し、大会運営を支えています。来日する海外選手たちとの交流や育まれる友情や連帯感はきっと平和でよりよい世界を実現する大きな手立てになると信じています。

本学は、建学理念である「言葉は世界をつなぐ平和の礎」の下、「スポーツ通訳ボランティア」に取り組んでいます。日頃の学習の成果を発揮し、「おもてなしの心」で世界中の皆様をお迎えしてください。そして、言葉や文化を超えた交流を深め、世界平和の礎を築いてください。この経験は必ず、将来の大きな飛躍につながることでしょう。

お互いを認めあい尊重しあう、あたたかな交流が生まれることを期待しています。



神田外語大学 副学長  
ボランティアセンター長  
**柳沼 孝一郎**

“神田外語大学で学ぶ、すなわち「世界を学ぶ」を世界に発信！”

本年8月、例年になく猛暑の中、「第16回世界女子ソフトボール選手権大会」が千葉県内の4球場にて開催されました。東京2020オリンピック・パラリンピックの前哨戦ともいべき大会で、連日、熱戦が繰り広げられました。本学の多くの通訳ボランティアが大会運営にあたり、各国選手とともに熱い汗を流し、感動に震え、涙しました。来年は「ラゾビーワールドカップ」が開催されます。それに先立ち、神田外語グループを中心に7外大連合主催の「国際交流入門講座」が全国各地都市にて地域の高校生を対象に開催されています。ボランティア活動は自分と人々と社会と世界とを繋ぎます。人を優しく、温かく、強くします。その先に自分の目標が見えてきます。



神田外語大学 学長  
**宮内 孝久**

青春時代の様々な「出会い」は学生たちの人生を愉しくします。多くの出会いは自分の意思とは関係なく訪れますが、自分から意図的にそれを求めていくと多種多様な人々に出会って面白いものです。

学生時代に東京2020オリンピック・パラリンピックやラグビー・ワールドカップ日本開催を迎え、世界各国の人々に出会える学生たちは幸せです。スポーツイベントには、競技をする人、観る人に加え「支える人」が参加し感動を共有します。これを機に「スポーツ通訳ボランティア」に参加し、自分の外国語技能を磨き、実践で臨試ししてみたいと思いませんか。恐らく、失敗もあるでしょうが誰かの役に立つことはうれしいこと、自分の得意なことや貢献する社会参加でより自信がつかはります。さあ、新しい「出会い」を求めて通訳ボランティアに挑戦しましょう。



神田外語大学 講師  
スポーツ通訳ボランティア推進室長  
**朴 ジョンヨン**

グローバル社会が急速に進行している中、真のグローバル人材に求められるのは語学だけでなく、世界に通用する人間力です。つまり、自ら主体的に考え、責任を持って行動することが重要です。

このセミナーは「人間としてのキャパシティを広げるための学び、リベラルアーツ（教養教育）を身につけるために役立つカリキュラムになっています。内容としてはスポーツ・文化をはじめ、日本・異文化理解、そしてホスピタリティ、コミュニケーション等幅広い知識・技能を学ぶことができます。このセミナーを通じて日本全国から一人でも多くグローバル人材が輩出されることを願っています。

## スポーツ通訳ボランティアを体験した卒業生からのメッセージ！

大手航空会社

現場こそが最も自分を成長させてくれる場所

長尾 滉さん  
アジア言語学科 韓国語専攻 2017年度卒業

活動  
・2017 駅A-U-15 駅杯アジア大会  
・2017 東内閣府ボランティアWF  
・2018 韓国学生ボランティア

私は、学生の間に学んだ全てを發揮する、「学生最後の集大成」という位置づけで、平昌冬季オリンピックのボランティアに参加しました。カンファのスピードスケート会場で観客案内業務を担当し、世界中のお客様とスポーツを通じて感動や情熱を共有するときに、多くの笑いと嬉しき瞬間に恵まれました。オリンピックという世界が注目する舞台の裏面でも真に楽しめたこと、個人的に「もつたつたの日本代表」というテーマを受け、日本人チーム全員で大会の成功に貢献できたこととても楽しみに感じています。

通訳ボランティアへの参加を奨励している方々へお伝えしたいのは、多くの経験を積むことが非常に重要で、自分の経験に繋がる情報はたくさんあるということ、多くの人と関わり多くのものを吸収し、自分の成長を促すことで自分の将来も広がっていくこと、そして現場こそが最も自分を成長させてくれる場所だということです。勇気をもって即へ参加してみてください！

青年海外協力隊

就活で胸を張れる通訳ボランティアでの経験

佐久間 大樹さん  
英米語学科 2016年度卒業

活動  
・2014 世界フィギュアスケート選手権  
・2016 15 Southall No.1 Cup  
・2017 世界フィギュアスケート選手権

大学生活の中で、最も力を入れたことは何ですか？と就職活動や大学院等への入試の面接の場面で必ず聞かれたこの質問に對して、私は決まっています「スポーツ通訳ボランティアの活動です。」と、胸を張って答えることができました。

大学1年次の春休みに初めて参加して以降、4年間でメジャーなものからパラスポーツまで様々な競技に関わらせていただきました。

活動を通して、自分の短見を広げ、様々な業種・競技に関わる人と繋がり、大学生活の4年間で大きく成長する事が出来たのは、スポーツ通訳ボランティアがあったからだと感じています。

英語教員

経験しないとわからない「変える」スポーツ

尖戸 陽香さん  
英米語学科 2015年度卒業

活動  
・2014 AIG 世界卓球選手権大会  
・2014 神戸国際学生選手権  
・2014 世界エアロビクス選手権

「遠くからスポーツを見てみたい」とそんな気持ちで始めました。スポーツ通訳ボランティアでは、通訳はもちろん、書類の翻訳や日程調整、会場アナウンスなど、普段できない様々な経験をしました。

多くの人と関わる中で、自分自身を磨き、鼓舞するきっかけにもなっていて感じています。この経験は、誰にも話せない、私だけが話せる強みです。

「支える」スポーツを経験した今、今度は「伝える」スポーツをしたいと思っています。

日本体育協会

“選手の印象は通訳の言葉で決まる”

高橋 愛さん  
アジア言語学科 韓国語専攻 2015年度卒業

活動  
・ジェフユナイテッド市原・千葉  
・2014 神戸国際学生選手権  
・2014 世界エアロビクス選手権

最も印象に残っている活動は、ジェフユナイテッド市原・千葉での韓国入選手通訳です。試合後の記者対応の際の韓国語通訳を担当しました。

活動を始めた当初は留学で身につけた韓国語と、女子サッカー一歩での経験でそれなりに出来るだろう。なんて甘い考えでしたが、通訳はそんなに簡単な仕事ではありませんでした。試合中の選手の動きやチームの流れ、監督のコメント等をメモし、韓国語を準備して通訳に臨んでいました。

スタッフの方がおっしゃっていた「選手の印象は通訳の言葉で決まる」という言葉の通り、言葉一つ一つへの責任感と事前準備の大切さを学んだ活動でした。

### 神田外語大学 ボランティアセンター・スポーツ通訳ボランティア推進室

〒261-0014 千葉県美浜区若葉1-4-1

E-mail [sports-volunteer@kanda.kuis.ac.jp](mailto:sports-volunteer@kanda.kuis.ac.jp) TEL 043-273-1534

神田外語大学版  
通訳ボランティア  
育成セミナー  
～世界スポーツ・国際イベントに向けて～

開催日程  
2018年9月5日(水)～7日(金)

受講人数  
150名

受講対象  
神田外語大学の学生  
神田外語学院の学生

開催場所  
神田外語大学

